

(別記)

令和7年度丹波篠山市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

<現状（令和7年度）>

丹波篠山市は水稻を基幹作物として、特産物である「黒大豆」「枝豆」「山の芋」「大納言小豆」等を組み合わせた輪作体系を取り入れ、地域の気候風土に合った特色のある農作物生産を展開している。しかしながら、零細で分散型の農地所有が多く米の生産費は全国平均より割高と推計される。

当該地域は、全水田面積に占める主食用米面積の割合が約56%となっている。転作作物では黒大豆が占める面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。今後、主食用米の需要が減少する中、他の作物への作付転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

<課題>

米の生産調整の終了により各農家がそれぞれで需要に応じた米生産について判断することになるなか、丹波篠山の特産物の生産強化がこれまで以上に重要となってきた。このため、丹波篠山市地域農業再生協議会では、丹波篠山市水田活用方針に基づき、特産物の作付面積の維持とその拡大につながる特産物の生産目標面積を各集落に示し、特産物の生産の推進を図っている。

しかし、主食用米と主要な特産作物とを栽培する生産体制が確立されていること、農家の高齢化や農家戸数の減少が進み、主食用米から手のかかる他の転作作物へ転換するだけの余力がないこと、気候変動により作物の栽培が困難になってきたことなどから、地域的耕作条件の良くない農地における不作付地の拡大が徐々に進んでいる。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

黒大豆・枝豆・山の芋等の特産物は農業経営を支えるうえで、重要な農産物であることから、引き続き積極的な生産振興を図りつつ、現状面積を維持する。

<安定生産と低コスト化>

- 関係機関と連携し、営農指導の充実や気候、ほ場状態の情報を周知し、病虫害発生の予察に基づく適期防除の実施や適切な水管理により生産量の安定、品質の向上を図る。
- 集落組織による、機械の共同利用や共同購入を図り、戸別の生産コストの抑制と省力化を推進する。
- 特産作物の団地化栽培を推進することで、農作業の効率化、集落営農組織の活性化を図る。

<付加価値の高い農作物の生産>

- 丹波篠山市ではオーガニックビレッジを宣言し、生き物や環境に配慮した農作物の栽培を推進している。以前から本協議会が行っている有機JASの取組を継続し、本地域における付加価値が高い農作物の生産を推進する。
- 山の芋をはじめとする地域の特色や歴史のある農作物の生産支援を続け、「丹波篠山ブランド」イメージ向上につなげる。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農地の利用権設定の利用集積により経営規模を拡大し、効率的な生産を行う経営体が存在する一方で、依然として小規模稲作農家が大部分を占めている。集落ぐるみによる営農経営体の育成を図っているが、高齢化や少子化の進行と農業機械の高騰により、組織の維

持や機械の更新が困難になっている地域がある。本市が誇る特産物である黒大豆、枝豆、山の芋、小豆は市場での需要は大きいとその栽培や出荷には多くの手間がかかるため、収益の安定性や労力、手間暇のバランスから転作作物では黒大豆及び黒枝豆が多く栽培されている。市内農家の多くが面積の大小に関わらず栽培しているが、共同栽培やブロックローテーションなど効率的な生産体系を実施している所は少ない。前述のとおり本市の特産物は手間暇がかかるので、農地の維持には機械化による省力化が進んでおり他産地よりも高価格帯で取引されている水稻の生産を中心とせざるを得ない。

こうした中、水稻生産面積を一定に保ちながら農地を維持し、農家所得を安定させるために黒大豆、黒枝豆、山の芋、小豆などの特産農産物の生産振興を引き続き推進し、優良水田を十分に活用できる環境づくりを通じて農業者の所得向上を図ることを方針とする。

また、特産物の団地化栽培を推進し、集落内での効率的なブロックローテーションにつなげるとともに、水稻の作付けが見込まれない農地については、作付体系を定期的に点検し、特産農産物振興を踏まえた畑地活用等を検討していく。

水稻の効率的な栽培が難しい谷あいの農地などは畑地化支援事業を用いて高収益作物や果樹などに転換を進める。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

良食味米の生産技術や環境創造型農業の普及による付加価値の高い米づくりにより、ブランド化、高品質化を進めるとともに、農地集積・集約化による規模拡大や低コスト化を推進してきた。

今後も黒大豆など転作作物の生産維持を図りつつ、水稻との輪作体系による健全な水田活用を進める。

また、売れる米づくりにむけて、化学肥料や農薬の使用を低減し、自然環境に配慮した米づくりを推奨するなど、関係団体や農業者の意識改革に取り組み、「良質」「安心・安全」「低コスト」な米づくりの推進を図る。

(2) 備蓄米

備蓄米の作付けは行っておらず、今後の予定もない。

(3) 非主食用米

ア) 飼料用米

飼料用米は、畜産農家の減少に伴う需要量減少の懸念があることから、自給飼料生産の推進と地域内での耕畜連携の取組をさらに進めることにより、今後も現状の作付面積を維持していく。

イ) 米粉用米

学校給食用の米粉パンの需要に対応するため現状の作付面積を維持する。

ウ) 新市場開拓用米

丹波篠山市産の米は輸出用米としても需要がある。現在は栽培農家が少ないが、農地維持の観点からも栽培農家の増加及び面積を拡大する。

エ) W C S用稲

耕畜連携の推進及び市内畜産農家の増頭計画、飼料価格の高騰などから、市内需要の拡大が見込まれることから、畜産農家と連携して作付けを拡大する。

オ) 加工用米

学校給食用、米粉用等の需要に対応するため現状の作付面積を維持する。

(4) 麦、大豆、飼料作物

農業経営を支えるうえで、重要な特産農産物である黒大豆の生産量の安定を図るため、引き続き積極的な生産振興を図り、現状面積を維持する。

団地化栽培によりブロックローテーションを推進することで地力の維持に努め、高品質な黒大豆の栽培につなげる。

(5) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき現状の作付面積を維持する。

(6) 地力増進作物

高品質で減化学肥料の観点から栽培を推奨する。

(7) 高収益作物

えだまめ、ピーマン、山の芋、小豆、うすいえんどうを振興品目として、生産振興及び産地交付金を活用し、作付面積の維持・拡大を図る。

(8) 畑地化

効率よく水稻栽培ができない山間部等の狭小な水田を畑地化し本市の特産である黒大豆や黒枝豆の栽培を推進する。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2145.9	0	2140		2130	
備蓄米	0	0	0		0	
飼料用米	26.3	0	27		35	
米粉用米	0	0	0		0	
新市場開拓用米	2.82	0	0.4		2.5	
WCS用稲	16.6	0	17		15	
加工用米	73.3	0	74		75	
麦	1.7	0.9	2	1	2	1.8
大豆	520.7	0.8	530	0.5	550	0.5
飼料作物	4.68	0.7	5	1	6.5	1
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	1.2	0	1.5	0	2.5	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	5.3	0	5.5	0	4.5	0
高収益作物	442.08	0	449	0	462.5	0
・野菜	404.9	0	410	0	420	0
・花き・花木	11.4	0	12	0	12.5	0
・果樹	0	0	0	0	0	0
・その他の高収益作物	25.78	0	27	0	30	0
その他						
・						
畑地化	0.5	0	44.8	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	修正前	修正前
				前年度（実績）	目標値
1	えだまめ	えだまめ	栽培農家戸数	(令和6年度) 1775戸	(令和8年度) 1,875戸
2	山の芋	山の芋	面積拡大	(令和6年度) 15.2ha	(令和8年度) 26.2ha
3	小豆	小豆	面積拡大	(令和6年度) 16.7ha	(令和8年度) 36.0ha
4	ピーマン	ピーマン	面積拡大	(令和6年度) 0.9ha	(令和8年度) 1.5ha
5	一般野菜・花き（整理番号 1、2、4に該当する作物を 除く作物）	一般野菜・花き	面積拡大	(令和6年度) 38.2ha	(令和8年度) 40.0ha
6	うすいえんどう（二毛作）	うすいえんどう（二毛 作）	面積拡大	(令和6年度) 0.3ha	(令和8年度) 0.5ha
7	有機JAS認定作物	有機JAS助成加算	面積拡大	(令和6年度) 6.3ha	(令和8年度) 13.2ha
8	飼料作物、飼料用米、WCS 用稲	耕畜連携助成（わら利 用、水田放牧、資源循 環）	面積拡大	(令和6年度) 18.5ha	(令和8年度) 11.5ha
9	麦、大豆、飼料作物、飼料用 米、米粉用米、WCS用稲、加 工用米、そば、なたね	二毛作助成の取組（戦 略作物）	面積拡大	(令和6年度) 2.0ha	(令和8年度) 3.0ha
10	学校給食用野菜（たまねぎ、 青ネギ、白菜、にんじん、 きゅうり、かぼちゃ、ほうれ ん草、大根、キャベツ、水 菜、じゃがいも、菜の花、さ つまいも、にら、にんにく）	学校給食野菜助成	面積拡大	(令和6年度) 2.0ha	(令和8年度) 1.7ha
11	地域伝統作物（住山ごぼう、 大山すいか、天内芋）	地域伝統作物助成	面積拡大	(令和6年度) 1.6ha	(令和8年度) 2.0ha
12	黒大豆・えだまめ（早生を除 く黒大豆）	団地化加算	面積拡大	(令和6年度) 1.2ha	(令和8年度) 3.0ha
13	黒大豆	黒大豆	面積拡大	(令和6年度) 444.4ha	(令和8年度) 460ha
14	えだまめ（みどり認定）	みどり認定加算	認定数	(令和6年度) 3	(令和8年度) 8

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:兵庫県

協議会名:丹波篠山市地域農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	えだまめ	1	5,000	えだまめ	作付面積に応じて支援
2	山の芋	1	35,000	山の芋	作付面積に応じて支援
3	小豆	1	11,000	小豆	作付面積に応じて支援
4	ピーマン	1	10,000	ピーマン	作付面積に応じて支援
5	一般野菜・花き	1	10,000	一般野菜・花き(整理番号1、2、4に該当する作物を除く作物)	作付面積に応じて支援
6	うすいえんどう(二毛作)	2	8,000	うすいえんどう(二毛作)	作付面積に応じて支援
7	有機JAS助成加算	1	25,000	有機JAS認定作物	作付面積に応じて支援
8	耕畜連携助成	3	13,000	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	作付面積に応じて支援
9	二毛作助成の取組(戦略作物)	2	15,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	作付面積に応じて支援
10	学校給食野菜助成	1	40,000	学校給食用野菜(たまねぎ、青ネギ、白菜、にんじん、きゅうり、かぼちゃ、ほうれん草、大根、キャベツ、水菜、じゃがいも、菜の花、さつまいも、にら、にんにく)	作付面積に応じて支援
11	地域伝統作物助成	1	20,000	地域伝統作物(住山ごぼう、大山すいか、天 内芋)	作付面積に応じて支援
12	団地化加算	1	20,000	黒大豆・えだまめ(早生を除く黒大豆)	作付面積に応じて支援
13	黒大豆	1	2,000	黒大豆	作付面積に応じて支援
14	えだまめ(みどり認定加算)	1	1,000	えだまめ(みどり認定)	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

対象作物一覧表

カテゴリー	区分	作物等名	作物コード	整理番号
麦	麦	小麦	100	9
		小麦（種子用）	101	9
		六条大麦	102	9
		二条大麦	104	9
		はだか麦	106	9
	大豆	青大豆	109	9
		白大豆（一般）	122	9
		白大豆（契約）	123	9
		白大豆（種子用）	112	9
		黒大豆	110	9 12 13
穀類	穀類	黒大豆（種子用）	111	9
		青刈りとうもろこし	124	8 9
		ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス）	125	8 9
		わら専用稲	113	8 9
		その他青刈り（テオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ）	126	8 9
	飼料	永年性牧草（オーチャードグラス、ヤモシ、トールフェスク、メードフェスク、パヒアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカローバー、シロクローバー、ペレニアルライグラス、リードカナリーグラス、飼料用シバ）	127	8 9
		メタリアンライグラス	128	8 9
		その他一年性牧草（ギニアグラス、カロードギニアグラス、ローズグラス、ハラグラス、パンゴラグラス、スピアグラス、オオクサキビ）	129	8 9
		飼料用根菜類（飼料用かぶ、飼料用ビート）	130	8 9
		飼料用穀類（子実用えん麦）	131	8 9
作物	作物	青刈りハトムギ（飼料用）	132	8 9
		子実用はと麦	121	8 9
		その他飼料作物	133	8 9
		その他飼料作物（資源循環非対象）	134	8 9
		飼料用青刈り稲	157	8 9
	新規需要米	稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオハ、タカナリ、兵衛銅78号（兵庫牛若丸）、夢あおば	135	8 9
		稲発酵粗飼料用稲（その他）	136	8 9
		飼料用米	116	8 9
		米粉用米	115	9
		加工用米	119	9
その他	その他	そば	117	9
		なたね	118	9
		きゅうり	200	5 7 10
		トマト	201	5 7
		なす	202	5 7
	作物	大市なす	205	5 7
		ピーマン	203	4 7
		ししとう	208	5 7
		トウガラシ	209	5 7
		ズッキーニ	204	5 7
野菜	野菜	かぼちゃ	204	5 7 10
		くり南瓜	202	5 7
		いちご	205	5 7
		すいか	206	5 7 11
		メロン	207	5 7
	作物	キャベツ	208	5 7 10
		キャベツ（農作転作）	209	5 7 10
		はくさい	248	5 7 10
		はくさい（農作転作）	210	5 7 10
		さんとうさい	292	5 7
果物	果物	ほうれんそう	211	5 7 10
		オクラ	262	5 7
		ハス	268	5 7
	果物	ねぎ	212	5 7 10
		太ねぎ	263	5 7 10
		岩津ねぎ	265	5 7 10
		丹波ひかみねぎ	266	5 7 10
		たまねぎ	254	5 7 10
		たまねぎ（農作転作）	213	5 7 10
野菜	野菜	らっきょう	291	5 7
		レタス	214	5 7
		レタス（農作転作）	264	5 7
		だいこん	256	5 7 10
		だいこん（農作転作）	215	5 7 10
	野菜	青味だいこん	284	5 7 10
		にんじん	216	5 7 10
		にんじん（農作）	287	5 7 10
		さといも	217	5 7 11
		れんこん	218	5 7
野菜	野菜	しょうが（根シカ）	219	5 7
		えだまめ（白大豆）	220	1 7 14
		えだまめ（黒大豆）	255	1 7 12 14
		青きやいんらん	221	5 7
		黒成熟とうもろこし	222	5 7
	野菜	食用ばれいしょ	223	5 7 10
		食用かかんしょ	224	5 7 10
		厄藤（あまいも）	281	5 7
		アスパラガス	225	5 7
		きのこ類	226	5 7
野菜	野菜	ブリッコリー（農作転作）	227	5 7 10
		ニラ	228	5 7 10
		やまのいも	229	2 7
		未成熟そらまめ	230	5 7
		一寸そら豆	237	5 7
	野菜	しゅんぎく	231	5 7
		青きやえんどう	232	5 7
		うまいえんどう	238	5 6 7
		かぶ	233	5 7 11
		ごぼう	234	5 7 11
野菜	野菜	まぐわうり	235	5 7
		しろうり	236	5 7
		べっちゃんうり	280	5 7
		とうがん	286	5 7
		セロリ	239	5 7
	野菜	食用なばな	283	5 7 10
		その他つけな類	240	5 7
		みつば	241	5 7
		パセリ	242	5 7
		ふき	243	5 7
野菜	野菜	しそ	244	5 7
		なた豆	245	5 7
		うど	246	5 7
		クワイモ	247	5 7
		チンゲンサイ	249	5 7
	野菜	その他中国野菜	250	5 7
		その他野菜	251	5 7
		加工食品用ばれいしょ	252	5 7
		カリフラワー	253	5 7
		しろな	257	5 7
野菜	野菜	こまつな	258	5 7
		みずな	259	5 7 10
		ヤーコン	260	5 7
		わさび	261	5 7
		セリ	267	5 7
	野菜	その他湿水性作物	269	5 7
		モロヘイヤ	270	5 7
		バジル	271	5 7
		ハーブ	290	5 7
		ハーブ	290	5 7

カ ゴ リ	区 分	作物等名	作物 コード	整理番号			
				5	7	10	
そ の 他 作 業		ねぎ	212	5	7	10	
		太ねぎ	263	5	7	10	
		岩津ねぎ	265	5	7	10	
		丹波ひかみねぎ	266	5	7	10	
		たまねぎ	254	5	7	10	
		たまねぎ（農作転作）	213				
		らっきょ	291	5	7		
		レタス	214	5	7		
		レタス（農作転作）	264				
		だいこん	256	5	7	10	
		だいこん（農作転作）	215				
		青味だいこん	284	5	7	10	
		にんじん	216	5	7	10	
		にんじん（農作）	287				
		さといも	217	5	7		11
		れんこん	218	5	7		
		しょうが（根シカ）	219	5	7		
		えだまめ（白大豆）	220	1	7	14	
		えだまめ（黒大豆）	255	1	7	12	14
		青きやいんげん	221	5	7		
		黒成熟とうもろこし	222	5	7		
		食用ばれいしょ	223	5	7	10	
		食用かかんしょ	224	5	7	10	
		厄藤（あまいも）	281	5	7		
		アスパラガス	225	5	7		
		きのこ類	226	5	7		
		ブロッコリー（農作転作）	227				
		ニラ	228	5	7	10	
		やまのいも	229	2	7		
		黒成熟そらまめ	230	5	7		
		一寸そら豆	237	5	7		
		しゅんぎく	231	5	7		
		青きやえんどう	232	5	7		
		うすいえんどう	238	5	6	7	
		かぶ	233	5	7		
		ごぼう	234	5	7	11	
		まくわうり	235	5	7		
		しろうり	236	5	7		
		べっちゃんうり	280	5	7		
		とうがん	286	5	7		
		セロリ	239	5	7		
		食用なばな	283	5	7	10	
		その他つけな類	240	5	7		
		みつば	241	5	7		
		パセリ	242	5	7		
		ふき	243	5	7		
		しそ	244	5	7		
		なた豆	245	5	7		
		うど	246	5	7		
		クワイモ	247	5	7		
	チンゲンサイ	249	5	7			
	その他中国野菜	250	5	7			
	その他野菜	251	5	7			
	加工食品用ばれいしょ	252	5	7			
	カリフラワー	253	5	7			
	しろな	257	5	7			
	こまつな	258	5	7			
	みずな	259	5	7	10		
	ヤーコン	260	5	7			
	わさび	261	5	7			
	セリ	267	5	7			
	その他温水性作物	269	5	7			
	モロヘイヤ	270	5	7			
	バジル	271	5	7			
	ハーブ	290	5	7			